

留学先決定に至るまでの経緯

2017年6月 平川奇跡

1. はじめに

今年の10月から Christ' s College, University of Cambridge, Department of Engineering に留学予定の平川奇跡と申します。今回の報告書では、イギリスの大学への留学を決心してから合格に至るまでの経緯について紹介させて頂きたいと思えます。

2. イギリスの大学への進学を決心した経緯

小学4年生夏休みの週末に、母より「インドへ旅行に行かない？」と誘われました。しかし、その時はこの旅によって私の日本での勉強が最後になるだろうとは夢想だにしておりませんでした。その後、私はインドに行き、TBISC(The British International School of Chennai)へ入学しました。数学の授業では、教師がインドの天才数学者 Ramanujan について言及し、どのようにして彼がケンブリッジ大学の数学者 GH Hardy の目に止まったかについて話してくれました。Ramanujan の話しは私の心を強く揺り動かし、それ以来、私はケンブリッジで勉強できれば素晴らしいと強く感じていました。9年生(中3)の時、科学は物理、化学、生物に分けられましたが、その時から物理にももの凄く興味を持つようになりました。私達の宇宙が、筆舌に尽くしがたいほどの美しい数学方法論によりモデル化されていることに魅了されました。そして、数学と物理の応用によってこの世の役に立ちたいという強い願望により工学部に進もうと決心したのです。



(クライスツ・カレッジ)

しかし私自身も後ほど気付きましたが、ケンブリッジ大学で学びたいと思った理由は以下によるものでした。

- I. スーパービジョン：それぞれの講義で学んだことをもとに、さらに専門分野について、徹底的に議論します。そのため、その分野の知識を深く学ぶことができるだけでなく、各自発言せざるを得ません。そういう意味では、議論の力を鍛えることにもなります。
- II. 世界各国から集まる優秀な学生達（特にヨーロッパ）と学ぶことができたなら素晴らしいと思いました。
- III. インドで勉強していた学校が、イギリス制度のカリキュラムを採用していたため受験資格がありました。

3. 合格のために実行したこと

イギリスの大学に受験するには、UCAS を通して5つの大学へ出願する事が必須条件となっています。そして下記の書類を UCAS を通じて提出しなければなりません。

- I. 高2（第1回目受験する場合）/高3（第2回目に受験する場合）の成績表
- II. 志望動機
- III. 出願者の情報
- IV. 推薦状

私の個人的な経験から、II と IV はあまり重要ではないと思います。さらに、ケンブリッジ大学受験希望者は COPA（外国人用出願書）を提出する必要があります。すべての書類の提出期限は10月15日でした。

しかし、最初の受験では不合格となりました。その主な理由は、私の学校ではケンブリッジ出願に強く有利な科目が提供されていなかったため選択科目の不足によるものでした。それから私は学校に行くのを止め、学校では提供されなかったがケンブリッジ（イギリス、日本を含む良い大学）に有利であると見なされた科目を独学で勉強し始めました。Aレベルは一般的に2年間続きますので、私の最初の申請はASレベルの成績（高2）に基づいて考慮され、2回目の申請は私のAレベルの成績（高3）に基づいて考慮されました。さらに、再度挑んだ決定的な要因は、

- I. 帰国子女入試対策のための予備校に入学する締め切り日を逃した事（笑）。

- II. ケンブリッジ大学の教授へメールを送り、合格への可能性がどれほどであるか尋ねてみました。そして次のように返信して頂きました。 “If you want to give Cambridge another go, I would say that you have a very good chance of getting an offer (it’s not guaranteed but to be frank and between us I’d be a bit surprised if you didn’t). 「あなたがケンブリッジにもう一度受験する事を望むなら、 オファーを得る確率が非常に高い (保証は出来ないが、個人的にはあなたがオファーをもらえなければ少し驚くだろう) 。”」

2015年10月に再受験し、2015年12月にケンブリッジで開催されたインタビューを受けました。そして2016年1月11日にケンブリッジからオファーの通知を受け取りました。ケンブリッジ大学の数学試験 (STEP) で特定の点数を取得することが条件になっているので、私はその試験を書き、大学の席は2016年8月18日に確定されました。しかし、私は財政上の理由から日本の大学へも受験する予定でした。その時、ケンブリッジ大学の日本人の先輩から船井財団様の奨学金について通知を受けました。そして8月の終わりに奨学金の面接があり、9月の始めに奨学金の合格通知を頂きました。

詳細

- 1、成績表：これは、おそらく、すべての科目の (数学科を除く) アプリケーションの最も重要なものとなります。しかし、2016年からケンブリッジではすべての学生が受けなければならない入学試験が導入されました。したがって、将来の応募者はこの試験の準備をしなければなりません。
- 2、志望動機：他の要因ほど重要ではありませんが、悪い印象を与えるものは書かない方が良いでしょう。コースになぜ申し込んだのか、興味、将来の計画、過去の成果 (物理オリンピックなど) やこれまで行ってきたことを書きました。
- 3、推薦状：学校の先生があなたについて悪いことを書いていない限り、やはり然程重要ではありません。
- 4、インタビュー：これは私がケンブリッジに受験する中で最も重要な要素の一つだと思います。面接官は、あなたが考えることができるかどうか (思考能力) とケンブリッジのスーパービジョンに対処できるか

どうか（1対1授業）を評価しようとしています。通常インタビューは2回行われ、それぞれに2人の面接官が対応します。彼らは通常、学部長/教授、時には博士課程の学生です。各面接は10点満点で評価され、通常合格した者は7または8点（例外的に優秀な学生には10点が与えられます）取ると言われています。工学部では数学と物理に関する質問、あなたの志望動機に関するいくつかの質問を尋ねられます。ですから面接の前に再度志望動機を読んでおきました。

タイムライン

10月15日-UCASとCOPAを提出。

11月10日-面接招待を受ける(出願者の約50%)。

12月8日-丸一日に及ぶ面接を終了。

1月11日-条件付きオファーまたは無条件オファーの通知を受け取ります。大学があなたに試験を書くよう要求する場合、条件を満たさない限り、あなたの席は確定されません。（私の場合は、STEP(ケンブリッジ大学数学試験)1のグレード1でした。）

6月24日-試験終了。

8月18日-試験の結果発表日。条件を満たしたかどうかに関わらず、大学から連絡があります。条件を満たしていれば、席が確定します（留学生の場合、財政保証の書式を提出する必要があります）。

8月27日- Funai Overseas Scholarship (学部留学) 面接。

9月2日- Funai Overseas Scholarship (学部留学) 合格通知を頂く！

4. 将来の夢

私は、学部を修了した後、米国でのさらなる研究に進みたいと考えています。そして将来、私はインドと日本を結ぶ起業家になりたいと思っています。これは、私がインドに住んでいたことと、その国が所有している巨大なポテンシャルがその要因であると私は信じています。

5. 英国の大学（特にオックスブリッジ）への受験志願者への提案

日本からの留学生のほとんどが米国の大学に受験しているのを見てきました。しかし、オックスブリッジはアメリカの資格（SATなど）を受け入れているので、申請する価値はあると思います。そして、パーソナライズされたケア（スーパービジョン）とアカデミックな環境の中で非常に豊かな教育を受けられると思います。海外に留学するほとんどの日本人学生が、「イギリスのシステムがあまりにも違っている」と思い込んでしまい、英国に申し込むことに消極的であるという印象を受けますが、現実にはアメリカの大学に応募するよりも容易だと思います。

6. 最後に

様々な面でサポートして下さった船井財団様及びケンブリッジの教授の方々に厚く御礼申し上げます。そしてここまで精神的にサポートしてくれた家族及び教会の牧師先生にも心の底から感謝しています。船井財団様の御支援を受けていなければこの留学は可能ではありませんでした。船井財団様の御支援に対して心より感謝申し上げ、御支援にお答えできるよう、4年間精一杯勉学に励みたいと思っております。